

つばさ

第65号

2023(令和5)年3月1日 発行

ご挨拶

鶴ヶ島市第二地区

青少年健全育成推進協議会

会長代行 高橋 剣二



藤中、藤小、第二小のPTAの皆様、学校長をはじめといたします教職員の皆様、自治会等の地域の皆様今年一年間、第二地区青少年健全育成推進協議会の活動にご理解ご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

コロナ禍も三年目となり、地域の活動や学校のイベントもなかなか開催に苦慮する中、第二健全のイベントの多くも今年度も中止ということになってしまいました。

令和五年こそウィズコロナがますます進みますことを祈って止みません。

さらに学校や地域の活動も少しずつでも良いので、再開し以前のような活気のある地域活動に回復しますことを心より願いまして、会長代行の挨拶に代えさせていただきます。一年間ありがとうございました。

年末巡回指導パトロール



12月23日(金)、第二地区年末巡回指導パトロールを行いました。

協議会会員、地域支え合い協議会の皆様・中学生の生徒さんと、コースに分かれて巡回しました。パトロール後、気が付いた事や問題点をまとめました。年代を超えた活発な意見交換で、コミュニケーションの場にもなりました。

今後の、登下校の安全見守りなどに役立てます。



インターネットと青少年健全育成

鶴ヶ島市第二地区青少年健全育成推進協議会

相談役 鶴ヶ島市立藤中学校 竹岡 聡



鶴ヶ島市第二地区青少年健全育成推進協議会の関係者の皆様には、日頃より小・中学校の児童生徒及び学校に対して、心温まるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度、各学校では新型コロナウイルスの感染予防に配慮しながら、授業や学校行事、中学校では部活動の大会が行われるようになり、保護者や地域の方々に来校していただく機会も徐々に増えてきました。また、児童生徒にタブレット・パソコン(Chromebook)が行き渡り、授業で活用したり、家庭学習に利用したりできるようになり、学級・学年閉鎖等への対策は整ってきました。

近年、インターネットの普及により、様々なことが大きく変わりました。余暇の時間にインターネットでゲームをしたり、動画などを視聴したりしている人が増えました。また、コミュニケーションもメッセージアプリなどを、インターネットを利用している人がたくさんいます。子どもたちも例外ではありません。インターネットはとても便利で、すでに社会で必要不可欠なインフラになっています。一方で、長時間の利用による健康への問題や、軽率な書き込みなどはいじめや人権問題に発展する心配もあります。子どもたちがインターネットを正しく使い、トラブルに巻き込まれないためには、家庭と学校が協力することが重要になります。最近のインターネットトラブルについて、総務省がホームページに「ネットトラブル事例集」を掲載しています。掲載しましたQRコードからご覧いただけますので、青少年の健全育成の一助となれば幸いです。

最後に、2022年4月から成人年齢が18歳となりました。多くの若者が高等学校に在学中に成人となりますので、青少年の健全育成も家庭と地域、学校がより一層の連携を図ることが求められていると思います。本協議会の関係者の皆様に、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

総務省「インターネットトラブル事例集 2022」QRコード



令和5年 鶴ヶ島市成人式



澄み渡る青空のもと、1月8日（日）に令和5年 鶴ヶ島市成人式が行われました。

晴れ着に包まれた参加者は、友達との再会の喜びに、笑顔がこぼれていました。

藤中学区は、市内各地区でも一番の参加人数で、協議会会員は受付等のお手伝いをしました。

